

日本学術会議 生活習慣病対策分科会（26期・第2回）議事録

日時 令和6年8月11日（土）11:00～

場所 ビデオ会議（zoom）

出席者（敬称略・五十音順）：磯博康、野出孝一、秋葉澄伯、浅野みどり、池田彩子、井上真奈美、小熊祐子、香美祥二、片山豪、佐藤加代子、中山健夫、堀江正知、水野篤、宮地元彦、八谷寛

オブザーバー：西村ユミ（健康・生活科学委員会 委員長）

- 1) 新たに委員となった水野篤氏（連携会員（特任））および、堀江正和氏（連携会員）より自己紹介があった。
- 2) 意思の表出について
 - ・ 第1回委員会の後に、構成員へのアンケート調査や、また個別のミーティングが実施されたことが報告された。
 - ・ 今期に、意見表出を行う方針であること、その内容としては、「生活習慣病」の用語使用に係る問題点、生活習慣病予防のための多職種連携に資する教育環境の整備、生活習慣病予防の実践の課題等であることが確認された。
 - ・ 意見表出の具体的内容、進め方に関して意見交換が行われた。
 - ・ 意見表出に係る申出書、提言の骨子案を作成し、関係する分科会や委員会と調整する方針が確認された。
- 3) 公開シンポジウム
 - ・ 12月に第9回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会学術集会と共催で公開シンポジウム開催することが承認された。